

令和6年 第19回帯広市教育委員会会議録

1. 令和6年12月26日 木曜日 16時00分～16時40分
帯広市教育委員会会議を市役所 10階第5B会議室に招集する。

2. 本日の出席者

教 育 長	広 瀬 容 孝
教 育 委 員	藤 澤 郁 美
教 育 委 員	佐々木 しゅり
教 育 委 員	柳 川 久
教 育 委 員	早 川 一 之

3. 本日の議事日程

- | | |
|------|--|
| 日程第1 | 会議録署名委員の指名について |
| 日程第2 | 議案第43号 帯広市学校開放事業の管理運営に関する規則の一部改正について |
| 日程第3 | その他(1) 教育懇談会の概要報告について
その他(2) 帯広市議会第4回定例会の報告について
その他(3) 今後の事業予定について
その他(4) 寄附受納について
その他 |
| 日程第4 | 議案第42号 令和6年度とからジュニア文芸各賞の決定について【非公開】 |
| 日程第5 | 議案第41号 教職員の人事内申について【秘密会】 |
| 日程第6 | 報告第26号 教職員の処分について【秘密会】 |

広瀬教育長

ただいまから、令和6年第19回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は、成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(高橋企画総務課長 報告)

広瀬教育長

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、柳川委員及び早川委員を指名いたします。

日程第2、議案第43号帯広市学校開放事業の管理運営に関する規則の一部改正についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

河瀬 室長

議案第43号帯広市学校開放事業の管理運営に関する規則の一部改正について、ご説明いたします。議案書は3ページから7ページまでであります。本案は、学校開放事業の屋内水泳プール開放について利用状況等を考慮し、開館期間及び休館日を変更するほか所要の整備をするため、規則の一部を改正するものであります。3ページをご覧ください。豊成小学校の開館期間について、これまで4月1日から翌年1月31日までの10か月としていたものを1か月短縮し、4月1日から12月28日までの9か月とするものです。休館日については、これまで夏季休業期間を除く火曜日と年末年始としていたところですが、利用が少ない4月、5月、11月、12月に限り、木曜日を加え週休2日とし、効率化を図ってまいります。また4ページに記載しております、学校開放事業使用登録申請書の一部改正を行うものです。説明は以上です。

広瀬教育長

これから質疑に入ります。

別になければ、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第43号帯広市学校開放事業の管理運営に関する規則の一部改正については、原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

広瀬教育長

ご異議なしと認め、議案第43号は決定されました。

日程第3、その他に入ります。

その他(1)教育懇談会の概要報告についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 部長

令和6年度教育懇談会の開催結果の概要について、ご報告いたします。議案書9ページをご覧ください。はじめに1、開催日程・参加者数ですが、11月2日及び17日の2日間、帯広市児童会館と、とかちプラザの市内2か所で開催し、合計58名の参加をいただきま

した。次に3、主な質問・意見等についてですが、児童会館60周年に関することでは、施設のPR拡充や大人を対象とする企画の実施について、おびひろ市民学に関することでは、体験的な学習についてのご意見をいただきました。また教育全般についての意見交換では、不登校支援に関するご要望や、ひろびろチョイスの取り組みなどについて幅広く意見交換を行いました。次に10ページの4、アンケートの概要についてですが、参加者58名中、37名からご回答いただき、回収率は63.8%でございました。結果の概要ですが、⑤参加した感想は、約8割の方が、良い、まあ良い、と肯定的な感想でした。⑦と⑧の各テーマの満足度は、いずれも9割以上の方から、5段階中4以上の評価をいただきました。⑨今後希望するテーマについては、不登校児童生徒の進路や支援、部活動、若い世代の選挙や政治参加の向上の課題についてといったテーマが寄せられました。⑩ご意見・ご感想では、教育懇談会に誰でも気軽に参加できるようになってほしい、他の保護者にも聞いてほしかった、引き続き直接対話できる場を継続してほしい、といった感想をいただきました。なお、開催結果の周知につきましては、今後、いただいた主なご意見と回答の概要等をホームページにて公開いたします。報告は以上です。

広瀬教育長
藤澤 委員

これから質疑に入ります。

今回の懇談会は子どもの参加もあったのでとても良かったと思います。要望になりますが、大人だけではなく、高校生や中学生が参加できるような懇談会も企画していただけたらと思いました。

広瀬教育長

他になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

その他(2)帯広市議会第4回定例会の報告についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

加藤 室長

帯広市議会第4回定例会における質疑のうち、学校教育部に関する質疑の概要についてご報告いたします。議案書の11ページをご覧ください。今回、一般質問では、22名中8名の議員から質問がございました。はじめに工藤進議員の質問中、教育現場については、帯広市における教育の課題を問う質問に対し、全国と同様に、学力や体力の向上、規範意識の醸成、いじめ・不登校等の対策など、多岐に渡る課題がある中、即時的に対応するもの、長期の展望をもって対応するものなどを十分吟味し、学校や校長会と連携し対応を進めている旨を答弁しております。次に佐々木直美議員の質問中、投票率は住民自治のバロメーターでは、小中学校での主権者教育などの取り組みを問う質問に対し、社会科を中心に、社会を支える仕組みや、国や地方の政治の働き、選挙に関する内容など、発達段階に応じた学習内容が位置付けられているほか、おびひろ市民学におい

て、子ども達が地域社会への関心を高める学習を行っている旨を答弁しております。次に椎名成議員の質問中、教育関係における課題では、学校統合に関する帯広市の考えを問う質問に対し、適正規模の確保等に関する取り組みにあたっては、教育活動や学校運営の観点のみならず、通学時の安全確保や、地域コミュニティへの配慮など、様々な視点を持ちながら進める必要があるほか、学校施設長寿命化計画などとの整合を図りながら、地域の実情に合わせて慎重に対応していく必要がある旨を答弁しております。次に谷保寿彦議員の質問中、学校支援地域本部については、学校支援地域本部の果たす役割を問う質問に対し、学校支援地域本部事業の実施により、学校は地域の多くの方々に支えられ、児童生徒はたくさんの温かい目に見守られながら成長しており、学校と地域との協働による取り組みの推進を図るための体制づくりに繋がるものと認識している旨を答弁しております。次に議案書 12 ページ、大塚徹議員の質問中、ゼロカーボン政策については、太陽光発電施設を設置している学校のうち、発電量が計測不能となっている設備への対応を問う質問に対し、モニターに発電量を表示できない学校については、一部機器の更新を含めた対応について調査している旨を答弁しております。次に今識史議員の質問中、闇バイトについては、闇バイトの防止に向けた未成年者への周知・啓発について、義務教育段階からの指導が必要ではないかとの質問に対し、小中学校では、帯広警察署による薬物乱用防止教室での指導や啓発チラシの配布などをしており、引き続き、児童生徒・保護者・教職員に適宜情報提供し、校長会とも連携しながら啓発に努めていく旨を答弁しております。次に柳田健太郎議員の質問中、情報リテラシーの向上では、情報リテラシー向上に向けた関係機関、事業者、家庭との連携の実施状況を問う質問に対し、小中学校では、毎年、帯広警察署の薬物乱用教室を実施しているほか、今年度から実施している「おびひろスクールラボ」では、外部講師を活用した情報リテラシー講座を実施しており、引き続き、同事業なども活用しながら、啓発活動を進めていく旨を答弁しております。最後に大林愛慶議員の質問中、市長公約の進捗状況では、ICTを活用した多彩な授業づくりの現状を問う質問に対し、1人1台端末を活用したプログラミング教育の充実や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めているほか、不登校対策として、メタバース空間を活用したひろびろチョイスの導入により、児童生徒への支援を行っている旨を答弁しております。このほか、議案審査特別委員会において1名の議員から、ご覧の通り質問があったところです。学校教育部に関する報告は以上です。

河瀬 室長

続きまして、生涯学習部に関する質疑の概要についてご報告いたします。今回、一般質問では6人の議員から質問がございました。

はじめに、椎名成議員の質問中、スポーツ振興については、気軽にスポーツができる環境整備の取り組みについての質問があり、帯広の森運動施設や総合体育館の整備のほか、マラソン大会やスポーツフェスティバルの開催を通じ、市民がスポーツに親しむ機会の提供を行ってきたこと。また、パラスポーツの普及の取り組みについては、市のホームページでパラ競技の紹介やボッチャをはじめとした用具の貸し出し、更にはよつ葉アリーナの開放や体験会などに取り組んでいる旨の答弁をしております。次に谷保寿彦議員の質問中、地域スポーツ団体については、部活動の休日地域移行を進めるにあたり、各種団体を所管している生涯学習部の現時点の見解について質問がございました。答弁では、10月に学校部活動の休日移行に関し、スポーツ団体や文化芸術団体の44団体に対し、指導体制や活動場所などについてのアンケートを実施したところ、27団体から回答があり、指導者や活動場所の確保のほか、移動手段や学校との連携などが課題として挙げられたことから、関係団体と連携・調整を図りながら、慎重かつ丁寧に地域移行に向けて進めていく必要がある旨の答弁をしております。次に鬼塚英喜議員の質問中、スポーツで楽しく健康なからだづくりと生活を送るためには、健康増進に向けてスポーツを行う動機づけが必要とのことから、市の取り組みについての質問があり、帯広の森運動施設や総合体育館の整備をはじめ、フードバレーとかちマラソンやスポーツフェスティバル等の開催に取り組んできたほか、健康体操教室や軽運動を行う生活習慣病予防セミナーなど、日々の健康づくりにつながる取り組みを実施してきたこと、また、今後も保健福祉分野などの幅広い分野とスポーツを結び付けながら、健康増進を進めていく旨を答弁しております。次に大塚徹議員の質問中、市民の注視課題として、中心市街地活性化と高齢化社会駐車場問題では長崎屋閉館に伴い、とかちプラザや図書館の駐車場が込み合っていることに触れ、このような事態について市の考えを問われたものであり、満車の際には、市役所駐車場や近隣駐車場の利用を呼び掛けている旨の答弁をしております。また文化ホール提携駐車場などから文化ホールまでの歩道の除雪についての質問では、動線に配慮していく必要があると認識しており、道路管理者と相談しながら安全な通行を確保する旨を答弁しております。次に今識史議員の質問中、フードバレーとかちマラソンについては、マラソン大会の意義など、市はどのように評価しているのかとの質問に対し、全国的にマラソン大会の参加者が減少傾向にある中で、フードバレーとかちマラソンは昨年を上回るエントリーがあり、参加者から一定の評価をいただいている。また、約5割が十勝管外からの参加者であることから、十勝・帯広への人の流れを生む取り組みにもつながっているものと考えている。交通

規制などの市民影響があるが、理解と協力をいただきながら、多くの方に多様な形で参加いただける大会として継続していきたい旨の答弁をしております。最後に大林愛慶議員の質問中、市長公約の進捗状況では、市民の健康づくりの取り組みについて、これまでのマラソン大会や各種教室のほか、今年度は新たに緑ヶ丘公園を会場にウォーキングイベントや子ども向けスポーツ体験イベントを開催し、市民がスポーツに関心を持ち、気軽に参加できるきっかけづくりに取り組んできた旨を答弁しております。生涯学習部に関する報告は以上です。

広瀬教育長

これから質疑に入ります。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他（3）今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

加藤 室長

学校教育部に関する主な事業予定について、ご説明いたします。議案書 13 ページをご覧ください。はじめに 3 学期の始業式ですが、市内小中学校及び義務教育学校は 1 月 10 日、南商業高等学校は 1 月 14 日に行われます。次に学校地域連携課では、十勝子ども雪上ばんばを 1 月 26 日に帯広の森運動公園で開催いたします。次に給食センターでは、交流給食会を 1 月 29 日に稲田小学校で実施いたします。最後に教育研究所では、冬季研修講座を 1 月 6 日から 1 月 8 日の期間で開催いたします。学校教育部からは以上です。

河瀬 室長

生涯学習部に関する主な事業予定につきましてご説明いたします。はじめに議案書 14 ページ、生涯学習文化課では、1 月 5 日に、帯広市民文化ホールにおいて、普段立ち入ることができない舞台裏や音響機材の操作などの体験ツアーを開催します。また 12 日には同じく市民文化ホールを会場に、20 歳の集いを開催します。次に図書館では、1 月 17 日から 30 日まで、図書館の利用マナーを再認識してもらうことを目的に、本が泣いています展を開催します。次に児童会館では、1 月 12 日に冬休みわくわく教室のほか各種行事をご覧のとおり開催いたします。次に 17 ページの百年記念館では、1 月 11 日から「動画で旅する十勝の歴史 5」と題し、昭和に記録された帯広・十勝の歩みの動画をロビーで放映します。最後にスポーツ課では、1 月 19 日に市民クロスカントリースキーツアーのほか、各種イベントをご覧の日程で開催します。生涯学習部に関する主な事業予定は以上です。

広瀬教育長

これから質疑に入ります。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他（4）寄附受納についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

加藤 室長

学校教育部の寄附につきましてご報告いたします。議案書 19 ペー

ジをご覧ください。学校地域連携課担当分として、学校教育やこどもを応援する活動の充実のため、市外在住の方 1,802 名より合計 2,794 万 4 千円を、学校教育課担当分として、子どもたちの自然に対する興味喚起に役立ててもらうため、〇〇〇様より書籍合計 54 冊をご寄附いただいております。なお、ご寄附いただいた現金は、こども学校応援基金に積み立てるものです。学校教育部からは以上です。

河瀬 室長

続きまして、生涯学習部に関する寄附につきまして、ご報告いたします。議案書 19 ページをご覧ください。はじめに、生涯学習文化課では、風土に根ざした文化振興のためとして、東京都在住の〇〇〇〇〇〇様ほか、市外在住の方 52 名より 91 万 2 千円をご寄附いただいております。次に図書館では、図書資料充実のためとして、札幌市在住の〇〇〇〇様、一般社団法人生命保険協会帯広協会様ほか、市外在住の方 210 名より現金合わせまして 361 万 2 千円をご寄附いただいております。次に百年記念館では、帯広市の文化の保存振興のためとして、札幌市在住の〇〇〇〇〇〇様より書道作品をご寄附いただいております。次に児童会館では、子供の健全な育成のためとして、国際ロータリークラブ第 2500 地区様より天体観測用機材一式をご寄附いただいております。次に動物園では、動物展示施設等の整備及び動物の購入のためとして、市外在住の方 193 名より 474 万 2 千円を、スポーツ課では、スポーツの振興のためとして、市外在住の方 102 名より 171 万円をご寄附いただいております。なお、ご寄附いただいた現金は、帯広市文化基金他 3 基金に積み立てるものです。生涯学習部からは以上です。

広瀬教育長
藤澤 委員

これから質疑に入ります。

児童会館の備考欄に、併せてこども課も遊具 1 点受領とありますが、この遊具はどういったものなのでしょうか。

高田児童会館係長
広瀬教育長

森の腰かけイモムシという遊具をご寄附いただいております。

他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

事務局から、その他説明事項はありますか。

事務局
広瀬教育長

ございません。

事務局からは、特にないようですが、各委員から他にご意見、ご質問等があれば、ご発言願います。

別になければ、ここで、会議の進め方についてお諮りいたします。

日程第 4 の案件については、帯広市教育委員会会議規則第 16 条第 1 項第 5 号により非公開に、日程第 5 から日程第 6 の案件については、同項第 2 号により秘密会にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのとおりに取り扱いたします。

これより、会議を非公開といたします。

日程第4、議案第42号令和6年度とかちジュニア文芸各賞の決定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

河瀬 室長

議案第42号令和6年度とかちジュニア文芸各賞の決定についてご説明いたします。議案書は1ページです。本件は、令和6年度とかちジュニア文芸賞、優秀賞及び佳作並びに推進奨励賞につきまして、とかちジュニア文芸に関する要綱第5条に基づき決定するものです。とかちジュニア文芸は、今年度で15回目となり、58作品、57名の応募がありました。とかちジュニア文芸賞につきまして、今回該当作品はございません。優秀賞につきましては、音更町立音更小学校6年平野李織さんの童話を推薦いたします。佳作につきましては、ご覧の作品を選出いたします。推進奨励賞につきましては、今年度は帯広市立帯広第四中学校と帯広市立帯広第五中学校の2校に決定しました。なお各賞決定の発表は議案議決後にプレスリリースにて行い、また表彰式は、来年2月15日11時より、図書館にて執り行う予定でございます。以上です。

広瀬教育長

これから質疑に入ります。

別になければ、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第42号令和6年度とかちジュニア文芸各賞の決定については、原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第42号は決定されました。

これより、会議を秘密会といたします。

(以下、非公開)

広瀬教育長

以上で本日の日程はすべて終わりました。

これをもちまして、令和6年第19回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。

